

診療関連技術	2年・前期	2単位	准教授 高橋智美, 他
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33110582

### 1. 授業のねらい・概要

医学的問題を有する対象に施される診療（診察・検査・治療）の目的・方法等を学び、看護師が補助として関わる役割とその意味を理解する。また、診療に伴う対象の心身の苦痛を最小に抑え、正確で安全な技術の修得を図る。

### 2. 到達目標

1. 検査・処置・治療を安全に実施するために必要な基本的知識が理解できる。
2. 検査・処置・治療を安全に実施する上で必要な基本的技術を習得できる。

### 3. 授業の進め方

授業計画に基づき、それぞれの項目に対して講義及び演習を行なう。また技術評価試験を行い、講義および演習で学んだ知識・技術を確認する。

### 4. 授業計画

1. 講義：ガイドランス，診療関連技術	16. 講義：与薬の基礎知識 3
2. 講義：安全管理の技術（医療事故防止）	17. 演習：静脈注射，点滴静脈注射
3. 講義：症状・生体機能管理技術 生体情報のモニタリング	18. 演習：輸液ポンプ・シリンジポンプ
4. 講義：感染予防の技術 1	19. 講義：排泄援助技術の基礎知識
5. 演習：感染予防の技術 2 ガウンテクニック，滅菌手袋装着	20. 課題学習：排泄の技術
6. 演習：感染予防の技術 2 無菌操作，滅菌物の取り扱い，	21. 演習：導尿
7. 講義：創傷管理技術	22. 演習：浣腸
8. 演習：創傷処置，包帯法	23. 講義：呼吸・循環を整える技術基礎知識
9. 講義：診察・検査・処置における技術	24. 演習：酸素吸入，ネブライザー
10. 演習：注射器の取り扱い，採血	25. 技術評価試験オリエンテーション
11. 演習：真空採血管を用いた採血	26～28. 技術評価試験：診療関連技術
12. 講義：薬物療法援助の基礎知識 1	29. 演習：吸引
13. 演習：薬物療法援助の技術	30. 講義：診療関連技術まとめ：対象を把握するための正確で安全な技術
14. 講義：薬物療法援助の基礎知識 2	
15. 演習：筋肉注射・皮下注射	

### 5. 成績評価の方法・基準

筆記試験（60%），技術評価試験（20%），課題・演習記録（20%）を総合的に評価する。

## 6. テキスト・参考文献

任和子他(2019)：系統看護学講座 看護技術Ⅱ 基礎看護学③ 医学書院  
本庄恵子，吉田みつ子監修（2019）：写真でわかる臨床看護技術①・②インタメディア

## 7. 準備学習に必要な時間，又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

- ・授業前に必ず予習し（1時間以上）事前学習課題を提出する。
- ・演習記録は演習の実施・結果，考察を記述して提出する。
- ・技術評価試験は3回以上の自己練習を必要とする。

## 8. 受講上の留意事項

- ・学内授業：3密を避けるよう配慮して講義，演習を実施する。
- ・演習時は臨地実習と同様の身だしなみをする。
- ・安全確保のため演習中は教員の指示に従う。

## 9. 課題に対するフィードバックの方法

- ・事前学修課題，演習記録はコメントして返却し，復習に活用する。
- ・定期試験の答えは返却しない。模範解答もしくは解説を掲示する。

## 10. 卒業認定・学位授与の方針当該授業科目との関連

- ・必修科目であり，修得できない場合進級不可となる。

## 11. 実務経験のある教員等による授業科目

- ・該当する本授業は，看護師としての臨床経験を活かして，講義・演習の指導を行う。